

富山～伊予ヶ岳 山行報告

日程 2017/11/12 (Sun)

天気 晴れときどき曇り

メンバー 上荒磯 単独行

ルート 岩井 St. 8:50→*福満寺(登山口) 9:15→五合目 9:45→富山南峰 10:00→*東屋・八犬伝終焉の地 10:15→富山北峰 10:20→*東屋・八犬伝終焉の地 10:45→*吉井の大井戸・水車小屋 11:25→六地藏登山口 12:20→分岐 12:35→休憩所 12:45→伊予ヶ岳南峰 13:00→伊予ヶ岳北峰 13:10→伊予ヶ岳南峰→休憩所 13:35→分岐 13:40→*天神郷登山口 14:00→岩井 St. (*:W.C. あり)

▲はじめに▲

TNK さんにいいところだよと提案をいただき、電車で行ける近場ということで今回伊予ヶ岳を登ることにした。コースを決めているところで、伊予ヶ岳から富山に繋げることができるとして富山三山(あとで知る)のうちの2つに行く。

富山の方が岩井駅に近いので、駅から富山、伊予ヶ岳と歩き、伊予ヶ岳登山口の天神郷前からトミー号(イエローのバス)に乗って岩井駅に帰るコースに決めた。

▲お山紹介▲

富山

- ・ 標高 349.5m
- ・ 歩行距離 9.0km、累計標高差+511m、-511m(岩井駅～福満寺～富山～伏姫ノ窟ルート)
- ・ 双耳峰が印象的
- ・ 江戸時代滝沢馬琴の「南総里見八犬伝」ゆかりの山
- ・ 1月～2月上旬はスイセンが見頃
- ・ 7～9月は暑いだけで登山に適さない

伊予ヶ岳

- ・ 標高 336.6m
- ・ 歩行距離 3.3km、累計標高差+280m、-280m
- ・ 富山、御殿山と富山三山の一つ
- ・ 房総唯一の岩峰
- ・ “千葉のマッターホルン” や”安房の妙義山” などの名前を持つ
- ・ 山名の由来は四国の最高峰岩鎚山、別名”伊予の大岳” からきている
- ・ 40～50分で登頂できるため”山歩きには県下最適”とお墨付きがある
- ・ 天狗が住んでいたという伝説がある
- ・ 1月は梅の花が見頃
- ・ 富山同様7～9月は登山に適さない

▲岩井駅～福満寺(富山登山口)▲

JR 内房線で岩井駅に 8:32 着。車窓から雪をかぶった富士山をときどき見つけながら、電車で揺られる。駅を出ると右に案内所があるが 9:00am オープン。駅正面には大きな観光案内の地図やちっさいが富山への標識があるのでその通りに進むと少しだけ近道できる。

駅の裏側に出て県道 258 号線の道を富山を見ながら歩いて行くと 30 分もしないで福満寺(富山登山口)に着く。まっすぐ仁王門をくぐり右側を向くと富山への入口になる。



福満寺仁王門

▲福満寺(富山登山口)～富山北峰▲

2組のパーティをうしろに1合目、2合目・・・と登る。道は整備されていて案内板も頻繁にあるし、山頂まではほとんどが階段になっているので危険はない。が、たまーに段が大きい。ガイドにもあるようにファミリーハイクにぴったりだ。

45分で富山南峰への階段が左に見つかる。展望はないので巻いても良いとあったが初めてなので行ってみる。何かが祀られているようでやはり景色は見られない。階段を下りて北峰を目指す。5分で伏姫籠穴との分岐に着き、北峰方面へちょっと進んだところにボタンスギの巨木と”愛の鐘”というものがある。

愛の鐘とは

富山は18年前頃に皇太子ご夫妻が登山されたことで愛の山として知られ、この鐘は地元の方が登山者に愛の音が広がるようにと設けたそう。

試しに鳴らしてみるとけっこう音が大きかった。さらに数分進むと展望が良い東屋が現れる。また、ここは八犬士終焉の地とされているらしい。まだてっぺんではないが山に囲まれた町や東京湾がきれいだった。

そこから5分・・・。富山北峰にゴール!風が強く寒い。先客が1人お茶をしていた。山頂からは緑の山々が、展望台からは鋸山や東京湾、久里浜、その先には南アルプスなんかも望める。寒いので早めに撤退して次なる目的地へ!



埋もれた六合目・・・



南峰への階段



シイの巨木群を抜ける



ボタンスギと愛の鐘



富山山頂



展望台から北方面

…とその前に展望台にあった富山にまつわる民話を紹介(要約)。「雲まで届く大人、大太法師が上総から安房に向かって歩いて来ました。砂で汚れた足を洗うのに岩井の浜辺に寄りますが、眠くなった大太法師は 3 キロ離れた富山を枕に 21 日間も眠りました。大勢の村人はハシゴを持って砂を落とし始めると、大太法師はくすぐったくて起き上がります。すると枕にした富山は真ん中がへこんで峰は北と南に分かれたのです。」岩井駅から海側に行くと岩井海岸があり、そこもまた大太法師の足の砂で遠浅となったという話があるらしい。

▲富山北峰～六地藏登山口(伊予ヶ岳登山口)▲

富山から伊予ヶ岳入口までの道は、途中水車小屋を目印とする。東屋の分岐点まで戻り、吉井農村公園方面に車も走れるコンクリート道を10分ほど下りて行くと伊予ヶ岳側の登山口に出る。左を向くと見えるお山が伊予ヶ岳だ。割れた岩場が緑から突き出ているのですぐわかる。みかん園を通り抜けると30分もかからず水車小屋がある吉井農村公園に着く。すぐ横の吉井橋を渡り5分歩くと伊予ヶ岳方面への案内板が見つかる。計画ではここを無視して直進するとしたが、県道を歩いた方がわかりやすいと案内に従って曲がることにした。が、行ってみると歩道が狭いのであんまりおすすめてはしない。30分ほどで六地藏登山口(伊予ヶ岳登山口)に着く。案内地図を見ると、山頂には40分で行けるらしい。



水車小屋

▲六地藏登山口(伊予ヶ岳登山口)～伊予ヶ岳～岩井駅▲

歩き始めるとすぐに山道っぽくなり、20分弱で富山と伊予ヶ岳の分岐に着く。伊予ヶ岳方面へ10分歩くと休憩所があり、そこからは山や田畑がよく見える。ここでちいちゃな子供連れのファミリーが嶺岡中央林道から来る。目指すところは同じのようだ。休憩所を後にして少しの階段を上るとガイドでみた鎖場が現れる!子供がコワイとギャーギャー叫びながら頑張るのを後ろから追いながら頂上を目指す。

こんな感じで伊予ヶ岳南峰に立つと、3組ほどのパーティでいっぱいだった。

富山は公園ほどの十分な広さがあったが、伊予ヶ岳は狭い!先に北峰へ行くことにして、途中で 1 人とすれ違いさらに縄を掴みながら登る。さっき行ったばかりの富山がきれいに見える。展望が良く南峰も見える。そして三角点がある。後ろから南峰にいた山ガール 3 人がこちらに向かって来るのが見えたので早々に戻ることにした。南峰は岩場が突き出したようになっていて、柵があるのでそこまでなら岩に立てる。こちらからもまた北峰が見え、富山や東京湾、内陸側の山々も見渡せる。

小休憩の後下山を始める。富山と伊予ヶ岳の分岐までピストンし、天神郷登山口方面に行く。天神郷までの道のりは危険や迷いの心配はなく順調に進む。ちょっとした竹林を抜ければゴールは目前だ。平群天神社に着くと黄色に染まったイチョウの木が美しい。マイカーの方はここに登山者用の駐車場がある。トミー号が来るまでの 40 分、御神木の大きな”夫婦クスノキ”なんかを見て待つ。幹の周長は 4m 以上、御年 100 歳という。こんな大きさのバウムクーヘンを食べてみたいなあと思いを飲む。

体操をしている途中で時間通りにトミー号が来て、岩井駅には 15:10 くらいに着く。



みかん園と伊予ヶ岳



鎖場



伊予ヶ岳から富山を望む



三角点を大切にしましょう



伊予ヶ岳南峰



平群天神社大鳥居と伊予ヶ岳

▲おわりに▲

買ったばかりの「千葉県の子(山と溪谷社)」を教科書にしながら計画を立てた。お天気の中、房総の名山に2つも踏むことができてなんともお腹いっぱいの日だった。岩井駅の観光案内所で買った富山三山の地図¥50を次のページに表面一部だけが載せてある。今度は伊予ヶ岳の南東にある富山三山のもう一つ御殿山を行こうと決め、今回の山行をおわりにした。

以上、ありがとうございました。

